

都計御田線立体横断施設



発注者 名古屋市 緑政土木局

形式 上路式単純鋼床版箱桁（跨線歩道橋）

支間長 64.000m

有効幅員 通路部：5.500m 階段部：3.000m

鋼材重量 製作：210 t 架設：38 t

架設工法 トラッククレーン架設

完工 平成 28 年 3 月

- 特徴
- ・ JR と名鉄が並行して走る線路を跨ぐ歩道橋である。
 - ・ 鉄道に近接する工事であること、また商業施設や駅に隣接する狭隘な作業ヤード内の施工でもあるため、一般車両や通行人など第三者災害防止に細心の注意を払い作業を行った。
 - ・ トラッククレーンにより脚柱、階段、歩廊の架設を行った。
 - ・ 橋面舗装は、基層として鋼繊維補強コンクリートを打設した上に型枠式カラータイル舗装を行った。